

平成30年度 事業報告書

公益財団法人 三徳庵

概況

平成30年に大日本茶道学会は創立120周年を迎えた。当財団では、この年を、本財団が継承する創立の精神の確認と啓蒙、あわせて、対外的には知名度がまだ十分とはいえない大日本茶道学会という茶道流派の存在をより多くの人々に知らせると同時に、財団の存在自体を周知させる機会ととらえた。そこで、創立者田中仙樵の誕生日9月3日に創立記念パーティーを、創立者の故郷である京都府福知山市にて、命日の10月6日に創立記念献茶式、翌7日に記念茶会などを行い、識者と地域の人々との関係を深める機会とした。

一方、昨年より、東京茶道会の一員として参加を始めたチーム J-culture2020（茶、花、畳、着物の四業界が協力して、和文化を発信する動き）の活動に関しては、畳業界からのゲストをトークショー「お茶つながりがおもしろい」に招くことその他、花、茶業業界主催の行事の中でおこなわれた、パネルディスカッションに理事長がパネリストとして参加することにより、相互理解を深めることに貢献した。

来年に迫った東京オリンピックに向けての和文化の魅力発信という国家的な大方針が、創立の精神と重なる所であることを確認しつつ、一助を担っていこうとしているところである。

I. 茶道文化研究に関する学術的研究を振興するための顕彰・助成および研究（公益目的事業1）
毎年出版される外部のすぐれた茶道文化研究を顕彰するのみならず、外部の研究者の茶道文化研究をも助成、あわせて独自の調査研究を行い、それらの成果を公開する。

1. 茶道文化研究の顕彰

- ・平成30年に出版されたすぐれた研究図書に対して、茶道文化学術賞・茶道文化学術奨励賞を贈呈するため、茶道文化学術賞選考委員会で審議を実施した。

平成30年度の審議結果は、以下のとおり

茶道文化学術奨励賞：木塚久仁子『松平不昧』（宮帯出版社）

茶道文化学術奨励賞：桐浴邦夫『茶の湯空間の近代』（思文閣出版）

2. 茶道文化研究への助成

- ・茶道文化学術助成

有望な研究計画に対して奨励研究・一般研究に分けて研究費助成を行うとともに、研究図書に対する刊行費助成を行い、茶道文化研究を促進するため、申請を受けた研究計画に対して、茶道文化学術助成を行うことの検討も茶道文化学術賞選考委員会で審議を行い、平成30年度茶道文化学術助成金は以下のとおりとした。

奨励研究助成 倉林 重幸 「近世後期大坂豪商・廣岡久右衛門家と茶の湯」

奨励研究助成 梁 旭璋 「大典顕常の詠茶贈答詩に見る中国文人式の喫茶交遊」

3. 茶道文化の調査研究

(1) 茶道文化に関する幅広い調査研究を行う。

調査研究事業の研究項目は、「茶道の芸術社会学的研究」「江戸初期茶書類の研究」という項目を掲げて調査研究を行った。

(2) 研究成果は、最終的に単独の研究書刊行を目標とする。

II. 茶道文化体験の提供及び茶道文化体験を提供できる茶道文化普及者の育成（公益目的事業2）

東京オリンピック開催が近づくにつれて、「茶の湯展」、「世界らん展」など、多くの外国人招致を意識したイベントも開催されるようになってきた。独自に体験教室を開催することに加えて、こうしたイベントに積極的に協力することで、茶道文化体験の機会を増やすべく活動した。

1. 茶会の実施（主催）

・平成30年度の実施結果は、以下のとおり

春季大茶会	於 護国寺	平成30年4月29日
三徳庵猶興一周忌茶会	於 東京美術倶楽部	平成30年5月30日
仙樵忌茶会	於 洞玄寺	平成30年10月6日
120周年記念茶会	於 洞玄寺	平成30年10月7日
徳川茶会	於 徳川美術館	平成30年10月20日
秋季大茶会	於 護国寺	平成30年11月4日
初釜	於 徳友会館	平成31年1月6～8日

2. 茶会の実施に対する協力

(1) 慈善目的、文化施設公開目的の茶会実施に対して協力し、茶道文化体験の普及並びに、文化財の公開に協力した。

護国寺主催 慈善茶会 於 護国寺 平成30年12月9日

(2) 例年のとおり、朝日カルチャーセンターの茶会、護国寺、東京茶道会の茶会に協力した。

東京茶道会	於 護国寺	平成30年10月14日
東京茶道会 茶筌供養	於 護国寺	平成30年12月2日
朝日カルチャーセンター横浜茶会	於 三溪園	平成30年11月18日
東京茶道会 招待茶会	於 護国寺	平成31年2月11日
朝日カルチャーセンター東京茶会	於 護国寺	平成31年3月24日

(3) その他、茶道美術展などに対する添釜・呈茶に関しては、適宜担当者を決めて、受託または斡旋を行った。

3. 茶道講座の開催

(1) 本部等において、茶道教習、関連文化講座を実施した。

点前 および茶花教習	於 本部教場	通年
夏期講習会	於 日本教育会館	平成 30 年 7 月 21～22 日
茶道講座	於 本部教場	平成 30 年 9 月 8 日
		平成 31 年 3 月 16 日
夏期集中教習	於 本部教場	平成 30 年 8 月 1～3 日
		平成 30 年 8 月 21～23 日
茶花特別教習 椿・水仙	於 本部教場	平成 30 年 12 月 14 日
福岡地区研修会	於 日本庭園	平成 30 年 5 月 13 日
経営者体験茶会	於 本部教場	平成 30 年 4 月 7 日
		平成 30 年 5 月 25 日
		平成 30 年 6 月 1 日
		平成 30 年 9 月 7 日
		平成 30 年 9 月 28 日
		平成 31 年 3 月 29 日
女性経営者の会	於 本部教場	平成 30 年 9 月 18 日
		平成 31 年 2 月 21 日

(2) 大日本茶道学会各支部等の主催する講習会へ講師を派遣し支援した。

長野(東信)研修会	於 小諸文化センター	平成 30 年 5 月 20 日
山形支部研修会	於 山形清風荘	平成 30 年 5 月 27 日
静岡研修会	於 本部教場	平成 30 年 6 月 10 日
愛媛県支部研修	於 愛媛県生活文化センター	平成 30 年 6 月 17 日
陽雲の会(群馬・埼玉県境)	於 陽雲寺	平成 30 年 9 月 8 日
長野(南信)研修会	於 駒ヶ根長春寺	平成 30 年 9 月 9 日
東北三支部(酒田・鶴岡・ 余目)合同研修会	於 遊心館	平成 30 年 9 月 29～30 日
郡山研修会	於 麓山荘	平成 30 年 11 月 17 日
静岡研修会	於 富士ロゼシアター	平成 30 年 11 月 25 日

(3) 受託事業として、各地の文化センターで茶道・茶花講座を開催した。

- ①朝日カルチャーセンター 新宿・千葉・横浜・名古屋
- ②NHK文化センター 仙台・郡山・川越
- ③株式会社読売・日本テレビ文化センター 横浜
- ④三越カルチャーサロン 於 三越日本橋本店
- ⑤『定年時代』共催特別講座 於 本部教場

(4) 学校の授業・特別行事に協力する

新渡戸文化学園	東京・中野	平成 30 年 7 月 14, 17, 18 日
		平成 30 年 12 月 17～19 日

花園幼稚園茶道教室	東京・新宿	平成 31 年 3 月 9～12 日
花園小学校クラブ活動	東京・新宿	平成 30 年 11 月 30 日
		平成 30 年 5 月～
		平成 31 年 2 月 (全 10 回)
四谷小学校	東京・四谷	平成 31 年 2 月 7・8 日
四谷第六小学校	東京・四谷	平成 30 年 7 月 13 日
菊名小学校	神奈川・横浜	平成 30 年 8 月 29 日
戸塚第一小学校茶道教室	茶道教室 東京・新宿	平成 31 年 2 月 4 日

(5) 地域への普及

茶道体験教室 (抹茶を点ててみませんか)	於 本部教場	平成 30 年 7 月 7 日
		平成 31 年 2 月 2 日
四谷大好き祭り呈茶	於 本部教場	平成 30 年 10 月 7 日
四谷消防少年団茶道体験	於 本部教場	平成 31 年 3 月 23 日

(6) 学校での茶道教習普及を目的とした指導者育成のための講習会ならびにスキルアップの研修会を開催する。

学校茶道の集い	於 本部教場	平成 30 年 4 月 14 日
学校茶道特別研修会	於 本部教場	平成 30 年 8 月 4・5 日
学校茶道資格者研修会	於 本部教場	平成 30 年 8 月 26 日
大学茶道の集い	於 本部教場	平成 30 年 8 月 7 日

4. 教習段階の認定

(1) 大日本茶道学会茶道（茶花科も含む） 教習者の教習段階の認定を行った。

(2) 教習資格の十二伝の段階では、筆記試験を実施した。

茶道講座筆記試験	於 本部教場	平成 30 年 9 月 8 日
		平成 31 年 3 月 16 日

(3) 最終の長盆段階では、実技試験も実施した。

長盆実技試験	於 本部教場	平成 30 年 11 月 24 日
--------	--------	-------------------

(4) 学校等での茶道講習の期間に応じた修了証を発行した。

5. 点前体系の公開

・『茶道の研究』を毎月刊行した（第 63 巻第 4 号から第 64 巻第 3 号まで）。

6. 広報・普及活動

(1) ホームページのスマートフォン対応をよりの確にすべく改修作業を行った。

(2) 茶道文化普及のための広報誌「えんじゅ」NO. 95～98 を発行した。

(3) 茶道文化の普及のための講演会トークショー開催。

・「お茶つながりがおもしろい Vol. 9」(石河恒夫氏 田中仙堂)

於 日経ホール

平成 30 年 8 月 25 日

(4) マスコミ等の取材に積極的に協力して、一般の人々にむけて茶道文化に関する記事・映像に触れる機会が少しでも高まるように努めた。

・「TOKYO2020 和の文化で広げる好機 大日本茶道学会 田中仙堂会長に聞く」

北陸中日新聞 平成 30 年 4 月 14 日

・「明治の 50 冊 平和の精神と輝く気概 岡倉天心『茶の本』」産経新聞 平成 31 年 1 月 7 日

(5) 大日本茶道学会各地方支部の本部機構として、支部長の認証を行い、支部長会議を主催し、全国で適切な茶道文化普及が行われるように統一目標を示す他、支部が主催する総会、例会、周年記念行事等の機会をとらえて、講話を行い、茶道文化普及の趣旨を各支部会員に徹底した。

・大日本茶道学会埼玉県支部連合会総会「創立 120 周年にむけて」 平成 30 年 5 月 13 日

・大日本茶道学会千葉県支部総会 「東洋哲学と茶道」 平成 30 年 5 月 13 日

・大日本茶道学会郡山支部 80 周年記念講演会 「利休の茶を天下仕置から見直す」

平成 31 年 2 月 3 日

(6) 各地でも公益性の高い活動に、適宜参加して、茶道文化普及活動を全国的に促進した。
平成 30 年度からは、他業種との連携にも力を入れて和 문화の発信に努めている。

・「和文化コラボセッション：日本伝統文化産業が世界に与えるインパクトを考える」

日本いけばな芸術特別企画 in 彩の国 於 埼玉会館

平成 30 年 5 月 26 日

・コラボセッション：「和文化の世界に向けた情報発信」

第 72 回全国お茶まつり東京大会

於 日本橋プラザビル

平成 30 年 12 月 15 日

(7) 来日外国人に対しての茶道文化の紹介等を様々な媒体を通じて行うために、作成した茶道紹介用ビデオの英語字幕版をインターネットを通じて公開した。

Ⅲ. 茶道関連、図書・用品の販売 (収益事業 1)

1. 仕入れ商品の販売

(1) 茶道学習に役立つ図書や茶道用品を仕入れ販売して、茶道学習や茶道文化体験への利便性を高めるにあたり、創立 120 周年にともないえんじゅ古帛紗の新色を製作し、販売した。

(2) 「第 16 回仙心会茶道工芸展」を実施し、現代生活の中に生かせる茶道具を提案した。

於 日本橋三越美術画廊

平成 29 年 3 月 28 日～4 月 3 日

IV. 管理部門（法人会計）

1. 会員

(1) 賛助会を組織し、賛助会会費による財団運営の安定化を図る。より開かれた形の賛助会員制度の定着を図った。

2. 寄附

(1) 大日本茶道学会創立 120 周年をアピールしつつ、当法人の事業目的を周知させるほか、公益財団法人に対する寄附の優遇制度の存在も告知して寄附を募集した。

V. 処務の概要

1. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 30 年 5 月 18 日 々 々	平成 29 年度事業報告承認の件 平成 29 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録の承認の件 定時評議員会招集の件	原案の通り承認可決 原案の通り承認可決 原案の通り承認可決
平成 31 年 3 月 19 日 々 々 々	平成 31 年度事業計画書承認の件 平成 31 年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件 平成 31 年度資金運用方針および計画の承認 茶道文化学術賞選考委員の選任の件	原案の通り承認可決 原案の通り承認可決 原案の通り承認可決 原案の通り承認可決

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 30 年 6 月 5 日 々	平成 29 年度事業報告承認の件 平成 29 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	原案の通り承認可決 原案の通り承認可決

(3) 茶道文化学術賞・学術助成金 選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
-------	------	-------

平成 31 年 2 月 22 日 々	平成 30 年度 茶道文化学術賞の受賞作品を選考 平成 30 年度 茶道文化学術助成金の対象者を選考	原案の通り承認可決 原案の通り承認可決
-----------------------	---	------------------------

2. 許可、認可及び承認に関する事項

申請月日	申請事項	許可等月日	備考
なし	なし	なし	

3. 契約に関する事項（借入金契約、借地契約、工事請負契約その他重要な契約）

契約年月日	相手方	契約の概要
なし	なし	なし

4. 寄付に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	備考
文化普及活動への活用	141名	¥15,395,000	¥15,395,000	自由意志による寄付 条件方法特になし

5. 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
平成 30 年 6 月 28 日	平成 29 年度事業報告等の届出	内閣府に提出
平成 31 年 3 月 26 日	平成 31 年度事業計画等の報告	内閣府に提出

事業報告の付属明細書

1. 役員その他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

区分	氏名	兼職先法人等	兼職の内容	関係
理事	徳川 斉正	公益財団法人 徳川ミュージアム	会長	同一部類の事業を実施